



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 バルミューダ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 寺 尾 玄
(コード：6612 東証グロース)
問い合わせ先 経理・財務部長 松 井 卓 也
(TEL 050-3733-9206)

2025 年 12 月期 連結業績予想の修正及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ

2025 年 2 月 13 日に開示した 2025 年 12 月期（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）の連結業績予想を以下の通り修正します。また、2025 年 12 月期連結会計期間において特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせします。

1. 2025 年 12 月期連結業績予想の修正（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株当たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,500	20	10	10	1.18
今回修正予想（B）	9,800	△930	△940	△1,500	△176.54
増 減 額（B－A）	△2,700	△950	△950	△1,510	－
増 減 率((B/A)-1)	△21.6	－	－	－	－
（参考） 前期実績 （2024 年 12 月期）	12,462	12	94	67	7.92

2. 連結業績予想修正の理由

国内においては、物価上昇に伴う消費マインド低迷の長期化により、流通在庫の増加傾向が継続しました。流通在庫の適正化を目的に 9 月から出荷を大幅に抑制したことにより、期初に想定した売上高を下回る見通しとなりました。米国においては、関税政策の影響により、想定していた価格設定や販路戦略等の設計が困難になりました。期初より事業展開の強化施策を推進してきましたが、計画変更により米国の売上高は期初の想定を下回る見通しとなりました。韓国においては一部製品の出荷時期が翌期にずれたこと、その他地域においては製品展開計画の最適化を図ったことなどにより、期初の計画を下回る見通しとなりました。加えて、国内外において複数の新製品の発売時期がずれたことも、期初に想定した売上高を下回る一因となりました。

営業利益については、売上高予想を修正したこと、及び、期初の想定より円安が進行し仕入コストが上昇したことなどに伴い売上総利益率の見通しを 35.6%から 33.3%に引き下げたことを踏まえ、予想を修正しました。

経常利益については、営業利益予想を引き下げたことに伴い予想を修正しました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益予想を修正したこと及び特別損失を計上する見込みとなったことから、予想を修正しました。

3. 特別損失の計上見込みについて

業績予想の修正を踏まえ、当社は今後の対応策として「生活家電カテゴリーの収益構造の再構築」と「新たな顧客層・市場を創出する新カテゴリーの確立」を掲げ、生活家電カテゴリーの収益性改善並びに全社的な事業効率の改善及び成長に取り組んでいきます。今回、生活家電カテゴリーの収益構造の再構築を推進するにあたり、生産終了見込みとなった製品・部材等の評価減等に関する特別損失 560 百万円を、2025 年 12 月期連結会計期間に計上する見込みとなりました。

なお、今後の対応策については、本日開示しました「2025 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会資料」をご参照願います。

以上